

平成24年度入学者のための

筑波大学大学院博士課程
第3年次編入学学生募集要項

- | | | |
|---------|----------|------|
| 一貫制博士課程 | (一般入学試験 | 2月期) |
| 一貫制博士課程 | (社会人特別選抜 | 2月期) |

平成23年11月
筑波大学

募集人員

一貫制博士課程

研究科名	専攻名	募集人員
人文社会科学	哲学・思想	若干名
	歴史・人類学	若干名
	文芸・言語	若干名
生命環境科学	生命共存科学	若干名（連携、社会人特別選抜の募集を含む。）

（注1）募集人員欄（連携）は連携大学院方式による募集を示します。

（注2）社会人特別選抜の募集要項は、後半に掲載しています。

一 般 入 学 試 験

(人文社会科学研究科哲学・思想専攻)

(人文社会科学研究科歴史・人類学専攻)

(人文社会科学研究科文芸・言語専攻)

(生命環境科学研究科生命共存科学専攻)

1. 出 願 資 格

- (1) 修士の学位を有する者及び平成 24 年(2012 年)3 月までに修士の学位を有する見込みの者
- (2) 専門職学位（学校教育法第 104 条 1 項に規定する専門職大学院の課程を修了した者に授与される文部科学大臣の定める学位）を有する者及び平成 24 年(2012 年)3 月までに有する見込みの者
- (3) 外国において修士の学位又は専門職学位に相当する学位を授与された者及び平成 24 年(2012 年)3 月までに授与される見込みの者
- (4) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修し、修士の学位又は専門職学位に相当する学位を授与された者及び平成 24 年(2012 年)3 月までに授与される見込みの者
- (5) 我が国において、外国の大学院の課程を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了し、修士の学位又は専門職学位に相当する学位を授与された者及び平成 24 年(2012 年)3 月までに授与される見込みの者
- (6) 学校教育法施行規則第 156 条第 4 号の規定により、国際連合大学の課程を修了し、修士の学位に相当する学位を授与された者及び平成 24 年(2012 年)3 月までに授与される見込みの者
- (7) 文部科学大臣の指定した者（平成元年文部省告示第 118 号。（注 1）及び（注 3）参照）
- (8) 本学の大学院において行う個別の入学資格審査により、修士の学位又は専門職学位を有する者と同等以上の学力があると認められた者で、24 歳に達したもの及び平成 24 年(2012 年)3 月までに 24 歳に達するもの（（注 2）及び（注 3）参照）

（注 1）出願資格(7)に該当する者とは、次の各号のいずれかに該当する者です。

- ① 大学を卒業し、大学、研究所等において 2 年以上研究に従事した者で、本学大学院において、当該研究の成果等により、修士の学位又は専門職学位を有する者と同等以上の学力があると認めた者
- ② 外国において学校教育における 16 年の課程を修了した後、又は外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における 16 年の課程を修了した後、大学、研究所等において、2 年以上研究に従事した者で、本学大学院において、当該研究の成果等により、修士の学位又は専門職学位を有する者と同等以上の学力があると認めた者

（注 2）出願資格(8)に該当する者とは、短大・高専・専修学校・各種学校の卒業者、外国大学日本校、外国人学校その他の教育施設の修了者（見込みを含む。）で、個人の能力の個別審査により、本学大学院において、修士の学位又は専門職学位を有する者と同等以上の学力があると認めた者です。

（注 3）上記出願資格(7)・(8)で出願しようとする者については、出願資格認定審査を行いますので、あらかじめ教育推進部教育推進課（12. 問い合わせ先）へ申し出て次の書類を平成 23 年(2011 年)12 月 15 日（木）までに教育推進部教育推進課あて提出してください。

なお、出願書類は出願資格認定審査が終了するまでその受理を保留します。

- （ア） 出願者調書…………… 指定様式
- （イ） 通常の出願書類（但し、検定料は出願資格認定審査結果が出るまでは払い込まないでください。）
- （ウ） その他研究科が必要と認める書類

出願資格について、疑問がある場合は、あらかじめ教育推進部教育推進課〔Tel029-853-2230・2231〕に照会してください。

2. 出願書類等

出願書類により取得した個人情報及び試験成績の個人情報については、入学者選抜に関する業務に利用します。また、入学手続完了者にあつては授業料免除申請者及び日本学生支援機構奨学金申請者に限っては選考の際の審査資料の一部に利用します。

書 類 等	提出該当者	摘 要
1 入学願書	全 員	所要事項を記入（入学願書等記入上の注意を参照）し提出してください。
2 履 歴 書	全 員 (外国人出願者を除く。)	入学願書裏面に所要事項を記入してください。
3 外国人出願者用履歴書	外国人出願者全員	本学所定の用紙に所要事項を記入し提出してください。
4 職 歴 調 書	職歴のある者全員	本学所定の用紙に所要事項を記入し提出してください。
5 受験票・写真票	全 員	所要事項を記入し、写真（出願前3か月以内に撮影した無帽上半身正面のもので、大きさは縦4cm×横3cm、同一の写真を使用）をはって提出してください。 上記要件に合わない場合には、受理しません。
6 机上受験票	全 員	所要事項を記入し提出してください。
7 検 定 料 (30,000円)	全 員 ただし、次に該当する者は不要。 国費外国人留学生、及び平成24年3月に本学大学院修士課程又は博士前期課程を修了し、引き続き本学大学院博士課程に進学する者。	所定の金融機関からの払込みとなります。外国在住の者は、クレジットカード（VISA、MasterCard、JCB、AMERICAN EXPRESS）により払込むことができます。詳細は、本学ホームページをご覧ください。 http://www.tsukuba.ac.jp/admission/graduate/information.html ① 払込期間 平成23年(2011年)12月1日(木)から、出願期間に間に合うよう払込みください。 ② 払込場所 ア 郵便局、銀行、信用金庫、農協（JA）などの金融機関受付窓口（ATM（現金自動預け払い機）から払込みすることはできません。必ず金融機関の受付窓口から払込んでください。） イ コンビニエンスストア（ローソン、セブン-イレブン、ファミリーマート、サークルK、サンクスに限ります。） ③ 払込方法 【郵便局の場合】 ア 本学所定の払込用紙（5枚綴りの専用紙）を利用し、各票の「払込人」欄（※印の欄）に、入学志願者（本人に限る）の住所・氏名（英字・漢字ともに必ずフリガナを付す）及び電話番号を黒又は青のボールペンで正確に記入してください。また、払込取扱票（振込通知書）には、出願する研究科名も記入してください。 イ 払込用紙に検定料30,000円を添え、窓口に入れてください。 ウ 「郵便振替払込金受領証」及び「郵便振替払込受付証明書」を受付窓口から受け取る際には、「受付局日附印」が押されていることを確認してください。 エ 払込手数料は、入学志願者本人の負担となります。 【郵便局以外の金融機関の場合】 ア 郵便局以外の金融機関から筑波大学の指定金融機関（三菱東京UFJ銀行または常陽銀行。払込用紙の裏面を参照）の口座宛に払込む場合は、本学所定の払込用紙（5枚綴りの専用紙）を利用し、各票の「払込人」欄（※印の欄）に、入学志願者（本人に限る）の住所、氏名（英字・漢字ともに必ずフリガナを付す）及び電話番号を黒又は青のボールペンで正確に記入してください。また、払込取扱票（振込通知書）には、出願する研究科名も記入してください。 イ 各票の「振込先」欄に、銀行名（三菱東京UFJ銀行または常陽銀行。払込用紙の裏面を参照）、欄に応じて支店名、口座番号をそれぞれ記入してください。 ウ 払込用紙に検定料30,000円を添え、窓口に入れてください。 エ 「郵便振替払込金受領証」及び「郵便振替払込受付証明書」を受付窓口から受け取る際には、「受付局日附印」が押されていることを確認してください。 オ 払込手数料は、入学志願者本人の負担となります。 【コンビニエンスストアの場合】 ア PC又は携帯電話Web上の専用ホームページ、店内にある情報

				<p>端末を利用して払い込みますので、払込用紙は使用しません。</p> <p>イ 実際の操作の手順については、別紙の案内書「コンビニエンスストアでの検定料払込方法」を参照して払い込んでください。</p> <p>ウ 払込手数料は、入学志願者本人の負担となります。</p> <p>④ 「受付局日附印」が押された「郵便振替払込受付証明書」(金融機関払込)又は「検定料収納証明書(収納印不要)」(コンビニ払込)を入学願書の所定欄にはり付けてください。</p> <p>「受付局日附印」が押された「郵便振替払込受付証明書」又は「検定料収納証明書」が所定欄にはり付けられていない場合は出願を受理しません。</p>
8	返信用封筒	全	員	<p>本学所定の封筒に志願者の住所、氏名を記入し、返信用郵便切手(350円分)をはって提出してください。(受験票送付用)</p>
9	修了(見込)証明書 (注1)	全	員	<p>本学大学院博士課程第3年次編入学への出願資格を満たす大学等の修了(見込)証明書を提出してください(通常は修士の学位を取得した大学院(大学))。また、外国の大学を卒業した者は学士相当の学位を取得したことを証明する書類(学位取得証明書等)を併せて提出してください。</p>
10	成績証明書 (注1)	全	員	<p>本学大学院博士課程第3年次編入学への出願資格を満たす大学等の成績証明書を提出してください(通常は修士の学位を取得した大学院(大学))。</p> <p>なお、編入学等により認定されている科目がある場合には、編入学等前の成績証明書も併せて提出してください。</p>
11	研究計画書	文芸・言語専攻の志願者		<p>本学所定の用紙に入学後の研究計画を記入し、提出してください。ただし、希望指導教員名は不要。</p>
12	TOEICの公式認定証またはTOEFLの受験者用スコア票 (注2)	生命環境科学研究科生命共存科学専攻の該当者		<p>英語の選択を公式認定証又は受験者用スコア票の提出とした場合は、公式認定証又は受験者用スコア票を必ず提出してください。公式認定証又は受験者用スコア票は出願締切り日から遡って2年以内に受験したものを提出してください。公式認定証又は受験者用スコア票のコピーの提出は認めません。</p>
13	論文題目票	全	員	<p>本学所定の用紙に記入し、提出する論文等のすべての表紙に添付してください。(複写可)</p>
14	論文等	全	員	<p>次のいずれかを入学願書提出期限までに提出する各研究科(専攻)の事務室(12頁「9.過去の入試問題公開状況」参照)あて提出してください。</p> <p>封筒(各自用意)に「15論文用シール」をはり付けて、この封筒に「13論文題目票」を添付した「14論文等」を入れて提出してください。郵送の場合は、必ず郵便局で「書留」にして送付してください。 (出願書類提出用の封筒には同封しないでください。)</p> <p>① 修士論文(写し可) 上記論文が出願時に提出不可能な場合は、それに準ずる論文(提出時までの研究成果に、結論に関する予測を加えた論文)</p> <p>② 昨年度以前の修了者は、新しい論文(写し可)をもって①に代えることができます。</p> <p>③ 修士論文を課せられていない者は、それに準ずる論文</p> <p>④ 本要項5頁1.出願資格(7)で出願する者は卒業論文(写し可)。(卒業論文を課せられていない者は、それに準ずる論文)</p>
15	論文用シール	全	員	<p>本学所定の用紙に記入し、論文等を入れる封筒に貼付してください。</p>
16	論文等要旨	該	当	<p>日本語又は英語以外の言語で書かれた論文を提出する場合は、日本語(4,000字程度)又は英語(1,500語程度)の要旨を、論文等を入れる封筒に同封し提出してください。</p>
17	受験承認書 (様式任意)	該	当	<p>① 現に大学・大学院等に在学している者(平成24年(2012年)3月卒業・修了見込みの者を除く)は、当該大学等の長(所属長)による受験承認書(様式任意A4判)を提出してください。</p> <p>② 現に官公庁・学校・会社等に在職している者(非常勤、アルバイトを除く)は、当該所属長による受験承認書(様式任意A4判)を提出してください。〔退職して入学する予定の者又は受験承認書の提</p>

			出が困難な者は、本人がその旨明記した文書（申立書：押印必要）をもって、受験承認書に代えることができます。ただし、退職して入学する予定の者は、入学手続き時に「退職証明書」を提出してください。]
18	外国人出願者調書	外国人出願者全員	所要事項を記入し提出してください。
19	国費留学生証明書 (様式任意)	外国人出願者の該当者	他大学に在籍している国費外国人留学生は、当該大学の発行する国費留学生証明書を提出してください。
20	受付・連絡受信先シール	全 員	本学所定の用紙に所要事項を記入し提出してください。
21	出願書類等提出明細票	全 員	本学所定の用紙に所要事項を記入し提出してください。

(注1) 婚姻等により証明書と氏名が異なる場合は、戸籍抄本(写し可)を添付してください。

(注2) スコア票において、疑義が懸念されるような場合は、発行元に確認します。

3. 出 願 方 法

- (1) 入学志願者は、出願書類を取りそろえ、出願書類等提出明細票で確認のうえ**本学所定の封筒**に入れ、下記の出願期間中に受付窓口を持参するか、又は**郵便局で書留・速達**にして教育推進部教育推進課あて郵送**(必着)**してください。
- (2) 出願書類の受付期間
平成24年(2012年)1月4日(水)～1月6日(金)9時～15時(昼休み12時～13時)
(持参、郵送とも期間内に必着のこと。期間終了後到着分は受理しません。)
- (3) 受付場所 筑波大学生物・農林学系A棟106室
〒305-8577 茨城県つくば市天王台1丁目1番地の1
受付場所周辺地図 URL: http://www.tsukuba.ac.jp/access/map_central.html
- (4) 出願書類を受理したときは、1月13日(金)に「受験票」を発送します。
なお、1月20日(金)までに受験票が到着しないときは、12頁「12. 問い合わせ先」に照会してください。
- (5) 出願に当たっての注意事項
 - ① 提出書類が不足していたり、記載事項に不備がある場合には、出願書類を受理しないことがありますので、提出前によく確認してください。
 - ② 出願後の志望研究科又は専攻の変更は認めません。
 - ③ 出願書類及び既納の検定料は、返還しません。

(注) 出願に当たり、カリキュラム、研究指導分野等について不明な点がある場合は、12頁「9. 過去の入試問題公開状況」の問い合わせ先まで連絡してください。

4. 選 抜 方 法

提出書類及び学力検査の結果を総合的に判定し、入学候補者を決定します。

5. 学力検査及び日程等

次の各日程のとおり実施します。

試験科目は、試験時選択科目以外は事前に選択するものとします。

人文社会科学研究科については、試験科目ごとに【出願時選択】又は《受験時選択》と表示してあるので、注意してください。

(1) 人文社会科学研究科

1) 哲学・思想専攻

専攻	月日	2月1日(水)		2月2日(木)
	科目	外国語		専門科目(200点)
		第1科目(100点)	第2科目(100点)	
時間	10:00~11:15	11:15~12:30	14:00~16:00	10:00~17:00
哲 学 ・ 思 想	英語Ⅰ、ドイツ語Ⅰ、フランス語Ⅰ、中国語Ⅰ、日本語のうちから1か国語を選択。 (ただし、日本語は外国人留学生のみ) 全ての外国語第1科目で辞書の使用は不可。 【出願時選択】	以下のうちから、外国語第1科目で選択した言語以外の1か国語を選択。辞書の使用を認める。 英語Ⅱ、ドイツ語Ⅱ、フランス語Ⅱ、中国語Ⅱ、中国古典語、ギリシャ語、ラテン語、サンスクリット語 【出願時選択】	(哲学分野) 哲学・哲学史	個別面接。 提出された論文の内容を評価するとともに、専門に関する試問及び研究への意欲に関する試問。
			(倫理学分野) 倫理学・倫理思想史	
			(宗教学・比較思想学分野) 宗教学・宗教史、比較思想学のうちから1科目選択。 【出願時選択】	

- (注) 1. 外国人留学生は「外国語第1科目」で必ず「日本語」を受験しなければなりません。
 2. 外国人留学生は「外国語第2科目」で母語を選択できません。
 3. 外国語第2科目で使用する辞書は1冊に限ります。辞書機能等を持つ電子機器は不可。
 4. 専門科目は、志望する分野の科目を受験すること。

2) 歴史・人類学専攻

専攻	月日	2月1日(水)		2月2日(木)
	科目	専門科目(150点)	関連科目(150点)	口述試験(200点)
	時間	10:00~11:30	13:00~15:00	10:00~17:00
歴史・人類学	<p>(歴史学分野) 日本史学、東洋史学、西洋史学、歴史地理学のうちから1科目選択。</p> <p>【出願時選択】</p>	<p>(歴史学分野) 日本史学は史料講読。 東洋史学は①史料講読と②英語文献講読。 歴史地理学は史料講読(読図を含む)。 西洋史学は①史料講読と②外国語文献講読(英語、ドイツ語、フランス語およびヘブル語のうちから1か国語を選択)。 (辞書の使用は不可)</p> <p>【出願時選択】</p>	<p>(面接) 提出された論文の内容を評価するとともに、将来の研究計画や関連事項を問う。 なお、試験は個別に行う。</p>	
	<p>(人類学分野) 先史学、考古学、民俗学、文化人類学のうちから1科目選択。</p> <p>【出願時選択】</p>	<p>(人類学分野) 先史学は英語文献講読。 考古学は外国語文献講読(英語、ドイツ語、フランス語、ロシア語および中国語のうちから1か国語を選択)。 (先史学、考古学は辞書の使用は不可)</p> <p>民俗学は①英語文献講読と②史資料講読。 文化人類学は英語文献講読。 (民俗学、文化人類学の文献講読は、辞書の使用を認める。ただし、辞書機能等を持つ電子機器は不可。)</p> <p>【出願時選択】</p>		
	<p>(複合分野) 現代東アジア歴史・民俗研究、地中海・西アジア研究のうちから1科目選択。</p> <p>【出願時選択】</p>	<p>(複合分野) 現代東アジア歴史・民俗研究は①外国語文献講読(英語、中国語、朝鮮語、日本語のうちから1か国語を選択)(日本国籍の受験者は日本語以外の言語を選択。外国人受験者は母語以外の言語を選択。辞書の使用は不可)。 ②史資料講読。 地中海・西アジア研究は外国語文献講読(英語、ドイツ語、フランス語、ギリシア語、ラテン語、アラビア語、トルコ語、ヘブル語のうちから1か国語を選択)(辞書の使用は不可)。</p> <p>【出願時選択】</p>		

(注) 専門科目は、志願する分野の科目を受験すること。

3) 文芸・言語専攻

専攻	月日	2月1日(水)		2月2日(木)
	科目	外国語(150点)	専門科目(300点)	口述試験(150点)
	時間	10:00~11:30	13:00~15:30	10:00~17:00
文芸・言語		日本語を母語とする者は、英語、ドイツ語、フランス語、ロシア語、イタリア語、中国語、古典語のうちから1科目(古典語は、ギリシア語、ラテン語、中国古典語のうちの1科目)を選択。 日本語を母語としない者は、日本語。 【出願時選択】	総合文学、日本文学、イギリス文学、アメリカ文学、フランス文学、ドイツ文学、中国文学、一般言語学、応用言語学、日本語学、英語学、フランス語学、ドイツ語学のうちから志望する領域の1科目を選択。 【出願時選択】	志望する研究領域に関する個別面接。

(注) 専門科目は、志望する研究領域より選択すること。

(2) 生命環境科学研究科

生命共存科学専攻

専攻	月日	2月1日(水)		2月2日(木)
	科目	外国語(200点)		口述試験(200点)
	時間			10:00~17:00
生命共存科学		英語 次の3つの選択肢からいずれか一つを選択 1. TOEFLの受験者用スコア票の原本を出願時に提出 2. TOEICの公式認定証の原本を出願時に提出 3. その他		個別面接 (注4. 参照) 留学生は英語による質疑も可能

(注) 1. 出願にあたり、志望者は志望研究分野の教員と事前に必ず連絡をとってください。

2. 英語については、1. TOEFLまたは2. TOEIC(出願締切り日から遡って2年以内に受験したものに限り)いずれか一つの公式認定証の原本(TOEFLではExaminee's Score Record、TOEICではOfficial Score Certificate)を出願書類に添付することが出願の条件となります。また、3. その他として、本専攻主催のTOEFL-ITPテストを受験することも可能です。希望者はテストの実施日時、場所等の詳細を本専攻のホームページ(<http://www.ies.life.tsukuba.ac.jp/zyuyou.html>)で確認し、出願締切り日までに本専攻事務室(E-mail: masuyama@ies.life.tsukuba.ac.jp, Tel: 029-853-6884)に申し込んでください。

点数の評価は、以下の基準点をもとに、それ以上を満点(200点)とし、それ未満を換算します。

()内の数字は合格に最低限必要な点数です。

ペーパー版TOEFL または本専攻主催の TOEFL-ITP	コンピュータ版TOEFL	TOEFL-iBT	TOEIC
550 (400)	213 (95)	80 (32)	730 (297)

3. 本専攻受験に関する問い合わせ先: 生命共存科学専攻長 福島 武彦 (電話 029-853-4210)

(電子メール fukusima@sakura.cc.tsukuba.ac.jp)

4. 口述試験では、修士論文に関する発表(10分程度)をしてもらいます。液晶プロジェクターとパソコンを用意しますので、ファイルをUSBメモリーあるいはCDで持参してください。

6. 学力検査等の試験場

筑波大学(茨城県つくば市天王台1丁目1番地の1)

[詳細については、12頁「11. 受験についての注意事項等」の「受験者心得」をご覧ください。]

8. 合格者の発表

平成24年(2012年)2月16日(木)10時

筑波大学本部棟前駐車場に掲示するとともに、合格者には、合格通知書を「書留」にて発送します。

9. 入学手続

(1) 合格者には、入学手続案内(入学に際して必要な提出書類が同封されています。)を合格通知書に同封しますので、これに従って入学手続をとってください。

なお、その際有職者(非常勤、アルバイトを除く。)については、任命権者が発行する書類(研修命令書、休職証明書、就学承認書等のいずれか)を併せて提出してください。

(2) 入学時に必要な経費

① 入学料 282,000円(入学手続の際納付した入学料は、返還いたしません。)

② 授業料 第1期分(4月～9月分)267,900円(年額535,800円)

(注)1. 入学時及び在学中に、学生納付金の改定が行われた場合は、改定時から新たな納付金額が適用されます。

(注)2. 入学料については、国費外国人留学生、及び平成24年(2012年)3月に本学大学院修士課程又は博士前期課程を修了し、引き続き博士課程へ編入学する場合は、進学扱いとなり、入学料の払込みの必要はありません。

(3) 外国籍の方は、入学手続き時までに「出入国管理及び難民認定法」(昭和26年政令第319号)に基づき、大学院入学に支障のない在留資格を得てください。

なお、本学に外国人留学生として入学を希望する者は必ず「留学」の在留資格を得てください。

10. 過去の入試問題公開状況

		閲覧	コピー	郵送	問い合わせ先	電話(直通)
人文社会科学					人文社会科学研究科事務室	029(853)7716
専攻	哲学・思想	×	○	○(注1)	哲学・思想専攻事務室	029(853)4133
	歴史・人類学	×	○	○(注2)	歴史・人類学専攻事務室	029(853)4403
	文芸・言語	○	○	○(注3)	文芸・言語専攻事務室	029(853)4340
生命環境科学					生命環境科学研究科事務室	029(853)7298
専攻	生命共存科学	○	○	×(注4)	生命共存科学専攻事務室	029(853)6884

(注1) 郵送を希望する場合は詳細について哲学・思想専攻事務室まで問い合わせてください。

(注2) 人文社会科学研究科歴史・人類学専攻ホームページ (<http://www.histanth.tsukuba.ac.jp/>) を参照してください。

(注3) 人文社会科学研究科文芸・言語専攻の郵送は過去1年分のみ。

(注4) 生命環境科学研究科ホームページ (<http://www.life.tsukuba.ac.jp/>) を参照してください。

(注5) 過去の入試問題の郵送方法、費用については、各研究科、各専攻の問合せ先に直接連絡してください。

(注6) 過去の入試問題の閲覧又はコピーを希望する者は、事前に各研究科、各専攻の問合せ先に連絡してください。

11. 障害のある者で、受験の際に特別な配慮を必要とする者は、平成23年(2011年)12月15日(木)までに教育推進部教育推進課へ申し出てください。

12. 受験についての注意事項等

受験についての注意事項が記された「受験者心得」を一読し、その指示に従って受験してください。

受験者心得は、本学ホームページ(<http://www.tsukuba.ac.jp/admission/graduate/index.html>)にて平成24年(2012年)1月16日(月)に掲載します。

13. 問い合わせ先

学生募集に関し、不明な点等がある場合には、次まで照会してください。

〒305-8577	茨城県つくば市天王台1丁目1番地の1 筑波大学教育推進部教育推進課大学院入試 電話 029(853)2230・2231 取扱日及び時間:月～金曜日の9時～17時 [ただし、休日(国民の祝日、振替休日)を除く。]
-----------	---

社 会 人 特 別 選 拔

(生命環境科学研究科生命共存科学専攻)

1. 生命環境科学研究科生命共存科学専攻における社会人特別選抜の出願資格

社会人特別選抜は、大学院における社会人の再教育に対する社会的要請に応えることを目的とし、出願資格は次のとおりとします。

下記のいずれかに該当し、平成24年(2012年)3月までに常勤、非常勤を問わず1年以上の社会的経験(企業・官公庁・教育関係機関等での就業。家事従事等の経験含む。)を有する者、又は有する見込みの者としてします。

A 出願資格審査を要しない者

- (1) 修士の学位を有する者
- (2) 専門職学位(学校教育法第104条第1項に規定する専門職大学院の課程を修了した者に授与される文部科学大臣の定める学位)を有する者
- (3) 外国において修士の学位又は専門職学位に相当する学位を授与された者
- (4) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修し、修士の学位又は専門職学位に相当する学位を授与された者
- (5) 我が国において、外国の大学院の課程を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了し、修士の学位又は専門職学位に相当する学位を授与された者
- (6) 学校教育法施行規則第156条第4号の規定により、国際連合大学の課程を修了し、修士の学位に相当する学位を授与された者

B. 出願資格審査を要する者

- (7) 文部科学大臣の指定した者(平成元年文部省告示第118号。(注1)及び(注3)参照)
- (8) 本学の大学院において行う個別の入学資格審査により、修士の学位又は専門職学位を有する者と同等以上の学力があると認められた者で、24歳に達したものと及び平成24年(2012年)3月までに24歳に達するもの((注2)及び(注3)参照)

(注1) 出願資格(7)に該当する者とは、次の各号のいずれかに該当する者です。

- ① 大学を卒業し、大学、研究所等において2年以上研究に従事した者で、本学大学院において、当該研究の成果等により、修士の学位又は専門職学位を有する者と同等以上の学力があると認められた者
- ② 外国において学校教育における16年の課程を修了した後、又は外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における16年の課程を修了した後、大学、研究所等において、2年以上研究に従事した者で、本学大学院において、当該研究の成果等により、修士の学位又は専門職学位を有する者と同等以上の学力があると認められた者

(注2) 出願資格(8)に該当する者とは、短大・高専・専修学校・各種学校の卒業者、外国大学日本校、外国人学校その他の教育施設の修了者(見込みを含む。)で、個人の能力の個別審査により、本学大学院において、修士の学位又は専門職学位を有する者と同等以上の学力があると認められた者です。

(注3) 上記出願資格(7)・(8)で出願しようとする者については、出願資格認定審査を行いますので、あらかじめ教育推進部教育推進課(12. 問い合わせ先)へ、申し出て次の書類を平成23(2011年)年12月15日(木)までに教育推進部教育推進課へ提出してください。

なお、出願書類は出願資格認定審査が終了するまでその受理を保留します。

- (ア) 出願者調書……指定様式
- (イ) 通常の出願書類(但し、検定料は出願資格認定審査結果が出るまでは払い込まないでください。)
- (ウ) その他研究科が必要と認める書類

出願資格について、疑問がある場合は、あらかじめ教育推進部教育推進課[TEL 029-853-2230・2231]に照会してください。

2. 出願書類等

出願書類により取得した個人情報及び試験成績の個人情報については、入学者選抜に関する業務に利用します。また、入学手続完了者にあつては授業料免除申請者及び日本学生支援機構奨学金申請者に限っては選考の際の審査資料の一部に利用します。

書 類 等	提出該当者	摘 要
1 入 学 願 書	全 員	所要事項を記入（入学願書等記入上の注意を参照）し提出してください。
2 履 歴 書	全 員 (外国人出願者を除く。)	入学願書裏面に所要事項を記入してください。
3 外国人出願者用履歴書	外国人出願者全員	本学所定の用紙に所要事項を記入し提出してください。
4 職 歴 調 書	職歴のある者全員	本学所定の用紙に所要事項を記入し提出してください。
5 受験票・写真票	全 員	所要事項を記入し、写真（出願前3か月以内に撮影した無帽上半身正面のもので、大きさは縦4cm×横3cm、同一の写真を使用）をはって提出してください。 上記要件に合わない場合には、受理しません。
6 机上受験票	全 員	所要事項を記入し提出してください。
7 検 定 料 (30,000円)	全 員 ただし、次に該当する者は不要。 国費外国人留学生、及び平成23年3月に本学大学院修士課程又は博士前期課程を修了し、引き続き本学大学院博士課程に進学する者。	所定の金融機関からの払込みとなります。外国在住の者は、クレジットカード（VISA、MasterCard、JCB、AMERICAN EXPRESS）により払込むことができます。詳細は、本学ホームページをご覧ください。 http://www.tsukuba.ac.jp/admission/graduate/information.html ① 払込期間 平成23年(2011年)12月1日(木)から、出願期間に間に合うよう払込みください。 ② 払込場所 ア 郵便局、銀行、信用金庫、農協（JA）などの金融機関受付窓口（ATM（現金自動預け払い機）から払込みすることはできません。必ず金融機関の受付窓口から払込んでください。） イ コンビニエンスストア（ローソン、セブン-イレブン、ファミリーマート、サークルK、サンクスに限ります。） ③ 払込方法 【郵便局の場合】 ア 本学所定の払込用紙（5枚綴りの専用紙）を利用し、各票の「払込人」欄（※印の欄）に、入学志願者（本人に限る）の住所・氏名（英字・漢字ともに必ずフリガナを付す）及び電話番号を黒又は青のボールペンで正確に記入してください。また、払込取扱票（振込通知書）には、出願する研究科名も記入してください。 イ 払込用紙に検定料30,000円を添え、窓口に入れてください。 ウ 「郵便振替払込金受領証」及び「郵便振替払込受付証明書」を受付窓口から受け取る際には、「受付局日附印」が押されていることを確認してください。 エ 払込手数料は、入学志願者本人の負担となります。 【郵便局以外の金融機関の場合】 ア 郵便局以外の金融機関から筑波大学の指定金融機関（三菱東京UFJ銀行または常陽銀行。払込用紙の裏面を参照）の口座宛に払込む場合は、本学所定の払込用紙（5枚綴りの専用紙）を利用し、各票の「払込人」欄（※印の欄）に、入学志願者（本人に限る）の住所、氏名（英字・漢字ともに必ずフリガナを付す）及び電話番号を黒又は青のボールペンで正確に記入してください。また、払込取扱票（振込通知書）には、出願する研究科名も記入してください。 イ 各票の「振込先」欄に、銀行名（三菱東京UFJ銀行または常陽銀行。払込用紙の裏面を参照）、欄に応じて支店名、口座番号をそれぞれ記入してください。 ウ 払込用紙に検定料30,000円を添え、窓口に入れてください。 エ 「郵便振替払込金受領証」及び「郵便振替払込受付証明書」を受付窓口から受け取る際には、「受付局日附印」が押されていることを確認してください。 オ 払込手数料は、入学志願者本人の負担となります。 【コンビニエンスストアの場合】 ア PC又は携帯電話Web上の専用ホームページ、店内にある情報

				<p>端末を利用して払い込みますので、払込用紙は使用しません。</p> <p>イ 実際の操作の手順については、別紙の案内書「コンビニエンスストアでの検定料払込方法」を参照して払い込んでください。</p> <p>ウ 払込手数料は、入学志願者本人の負担となります。</p> <p>④ 「受付局日附印」が押された「郵便振替払込受付証明書」(金融機関払込)又は「検定料収納証明書(収納印不要)」(コンビニ払込)を入学願書の所定欄にはり付けてください。</p> <p>「受付局日附印」が押された「郵便振替払込受付証明書」又は「検定料収納証明書」が所定欄にはり付けられていない場合は出願を受理しません。</p>
8	返信用封筒	全	員	<p>本学所定の封筒に志願者の住所、氏名を記入し、返信用郵便切手(350円分)をはって提出してください。(受験票送付用)</p>
9	修了(見込)証明書 (注1)	全	員	<p>本学大学院博士課程第3年次編入学への出願資格を満たす大学等の修了(見込)証明書を提出してください(通常は修士の学位を取得した大学院(大学))。また、外国の大学を卒業した者は学士相当の学位を取得したことを証明する書類(学位取得証明書等)を併せて提出してください。)</p>
10	成績証明書 (注1)	全	員	<p>本学大学院博士課程第3年次編入学への出願資格を満たす大学等の成績証明書を提出してください(通常は修士の学位を取得した大学院(大学))。</p> <p>なお、編入学等により認定されている科目がある場合には、編入学等前の成績証明書も併せて提出してください。</p>
11	TOEICの公式認定証またはTOEFLの受験者用スコア票 (注2)	生命環境科学研究科生命共存科学専攻の該当者		<p>英語の選択を公式認定証又は受験者用スコア票の提出とした場合は、公式認定証又は受験者用スコア票を必ず提出してください。公式認定証又は受験者用スコア票は出願締切り日から遡って2年以内に受験したものを提出してください。公式認定証又は受験者用スコア票のコピーの提出は認めません。</p>
12	論文題目票	全	員	<p>本学所定の用紙に記入し、提出する論文等のすべての表紙に添付してください。(複写可)</p>
13	論文等	全	員	<p>次のいずれかを入学願書提出期限までに出願する各研究科(専攻)の事務室(19頁「9. 過去の入試問題公開状況」参照。)あて提出してください。</p> <p>封筒(各自用意)に「14論文用シール」をはり付けて、この封筒に「12論文題目票」を添付した「13論文等」を入れて提出してください。郵送の場合は、必ず郵便局で「書留」にして送付してください。</p> <p>(出願書類提出用の封筒には同封しないでください。)</p> <p>① 修士論文(写し可) 上記論文が出願時に提出不可能な場合は、それに準ずる論文(提出時までの研究成果に、結論に関する予測を加えた論文)</p> <p>② 昨年度以前の修了者は、新しい論文(写し可)をもって①に代えることができます。</p> <p>③ 修士論文を課せられていない者は、それに準ずる論文</p> <p>④ 本要項14頁 出願資格(7)で出願する者は卒業論文(写し可)。(卒業論文を課せられていない者は、それに準ずる論文)</p>
14	論文用シール	全	員	<p>本学所定の用紙に記入し、論文等を入れる封筒に貼付してください。</p>
15	論文等要旨	該	当	<p>日本語又は英語以外の言語で書かれた論文を提出する場合は、日本語(4,000字程度)又は英語(1,500語程度)の要旨を、論文等を入れる封筒に同封し提出してください。</p>
16	受験承認書 (様式任意)	該	当	<p>① 現に大学・大学院等に在学している者(平成24年(2012年)3月卒業・修了見込みの者を除く。)は、当該大学等の長(所属長)による受験承認書(様式任意A4判)を提出してください。</p> <p>② 現に官公庁・学校・会社等に在職している者(非常勤、アルバイトを除く。)は、当該所属長による受験承認書(様式任意A4判)を提出してください。[退職して入学する予定の者又は受験承認書の提出が困難な者は、本人がその旨明記した文書(申立書:押印必要)をもって、受験承認書に代えることができます。ただし、退職して入学する予定の者は、入学手続き時に「退職証明書」を提出してください。]</p>

17	外国人出願者調書	外国人出願者全員	所要事項を記入し提出してください。
18	国費留学生証明書 (様式任意)	外国人出願者の該当者	他大学に在籍している国費外国人留学生は、当該大学の発行する国費留学生証明書を提出してください。
19	受付・連絡受信先シール	全 員	本学所定の用紙に所要事項を記入し提出してください。
20	出願書類等提出明細票	全 員	本学所定の用紙に所要事項を記入し提出してください。

(注1) 婚姻等により証明書と氏名が異なる場合は、戸籍抄本(写し可)を添付してください。

(注2) スコア票において、疑義が懸念されるような場合は、発行元に確認します。

3. 出 願 方 法

(1) 入学志願者は、出願書類を取りそろえ、出願書類等提出明細票で確認のうえ**本学所定の封筒**に入れ、下記の出願期間中に受付窓口に持参するか、又は**郵便局で書留・速達**にして教育推進部教育推進課あて郵送**(必着)**してください。

(2) 出願書類の受付期間

平成24年(2012年)1月4日(水)～1月6日(金)9時～15時(昼休み12時～13時)

(持参、郵送とも期間内に必着のこと。期間終了後到着分は受理しません。)

(3) 受付場所

筑波大学生物・農林学系 A 棟 106 室

〒305-8577 茨城県つくば市天王台1丁目1番地の1

受付場所周辺地図 URL : http://www.tsukuba.ac.jp/access/map_central.html

(4) 出願書類を受理したときは、1月13日(金)に「受験票」を発送します。

なお、1月20日(金)までに受験票が到着しないときは、19頁「12. 問い合わせ先」に照会してください。

(5) 出願に当たっての注意事項

- ① 提出書類が不足していたり、記載事項に不備がある場合には、出願書類を受理しないことがありますので、提出前によく確認してください。
- ② 出願後の志望研究科又は専攻の変更は認めません。
- ③ 出願書類及び既納の検定料は、返還しません。

(注) 出願に当たり、カリキュラム、研究指導分野等について不明な点がある場合は、19頁「9. 過去の入試問題公開状況」の問い合わせ先まで連絡してください。

4. 選 抜 方 法

提出書類及び学力検査の結果を総合的に判定し、入学候補者を決定します。

5. 学力検査及び日程等

次の各日程のとおり実施します。

試験科目は、試験時選択科目以外は事前に選択するものとします。

生命環境科学研究科（社会人特別選抜）

専攻	月日	2月1日（水）	2月2日（木）
	科目	外国語（200点）	口述試験（200点）
	時間		10:00～17:00
生命共存科学	英語 次の3つの選択肢からいずれか一つを選択 1. TOEFLの受験者用スコア票の原本を出願時に提出 2. TOEICの公式認定証の原本を出願時に提出 3. その他		個別面接 (注4. 参照) 留学生は英語による質疑も可能

(注) 1. 出願にあたり、志望者は志望研究分野の教員と事前に必ず連絡をとってください。

2. 英語については、1. TOEFLまたは2. TOEIC（出願締切り日から遡って2年以内に受験したものに限り）いずれか一つの公式認定証の原本（TOEFLではExaminee's Score Record、TOEICではOfficial Score Certificate）を出願書類に添付することが出願の条件となります。また、3. その他として、本専攻主催のTOEFL-ITPテストを受験することも可能です。希望者はテストの実施日時、場所等の詳細を本専攻のホームページ（<http://www.ies.life.tsukuba.ac.jp/zyuyou.html>）で確認し、出願締切り日までに本専攻事務室（E-mail：masuyama@ies.life.tsukuba.ac.jp, Tel：029-853-6884）に申し込んでください。

点数の評価は、以下の基準点をもとに、それ以上を満点（200点）とし、それ未満を換算します。

() 内の数字は合格に最低限必要な点数です。

ペーパー版TOEFL または本専攻主催の TOEFL-ITP	コンピュータ版TOEFL	TOEFL-iBT	TOEIC
550 (400)	213 (95)	80 (32)	730 (297)

3. 本専攻受験に関する問い合わせ先：生命共存科学専攻長 福島 武彦（電話 029-853-4210）

（電子メール fukusima@sakura.cc.tsukuba.ac.jp）

4. 口述試験では、修士論文に関する発表（10分程度）をしてもらいます。液晶プロジェクターとパソコンを用意しますので、ファイルをUSBメモリーあるいはCDで持参してください。

6. 学力検査等の試験場

筑波大学（茨城県つくば市天王台1丁目1番地の1）

〔詳細については、19頁「11. 受験についての注意事項等」の「受験者心得」をご覧ください。〕

7. 合格者の発表

平成24年(2012年)2月16日（木）10時

筑波大学本部棟前駐車場に掲示するとともに、合格者には、合格通知書を「書留」にて発送します。

8. 入学手続

- (1) 合格者には、入学手続案内（入学に際して必要な提出書類が同封されています。）を合格通知書に同封しますので、これに従って入学手続をとってください。

なお、その際有職者（非常勤、アルバイトを除く。）については、任命権者が発行する書類（研修命令書、休職証明書、就学承認書等のいずれか）を併せて提出してください。

- (2) 入学時に必要な経費

① 入 学 料 282,000円（入学手続の際納付した入学金は、返還いたしません。）

② 授 業 料 第1期分（4月～9月分）267,900円（年額535,800円）

(注) 1. 入学時及び在学中に、学生納付金の改定が行われた場合は、改定時から新たな納付金額が適用されます。

(注) 2. 入学金については、国費外国人留学生、及び平成24年(2012年)3月に本学大学院修士課程又は博士前期課程を修了し、引き続き博士課程へ編入学する場合は、進学扱いとなり、入学金の払込みの必要はありません。

- (3) 外国籍の方は、入学手続き時までに「出入国管理及び難民認定法」（昭和26年政令第319号）に基づき、大学院入学に支障のない在留資格を得てください。

なお、本学に外国人留学生として入学を希望する者は必ず「留学」の在留資格を得てください。

9. 過去の入試問題公開状況

	閲 覧	コ ピ ー	郵 送	問 い 合 わ せ 先	電 話 (直 通)
生命共存科学	○	○	×(注)1	生命共存科学専攻事務室	029(853)6884

(注1) 生命環境科学研究科ホームページ (<http://www.life.tsukuba.ac.jp>) を参照してください。

(注2) 過去の入試問題の閲覧又はコピーを希望する者は、事前に専攻の問合せ先に連絡してください。

10. 障害のある者で、受験の際に特別な配慮を必要とする者は、平成23年(2011年)12月15日(木)までに教育推進部教育推進課へ申し出てください。

11. 受験についての注意事項等

受験についての注意事項が記された「受験者心得」を一読し、その指示に従って受験してください。

受験者心得は、本学ホームページ(<http://www.tsukuba.ac.jp/admission/graduate/index.html>)にて平成24年(2012年)1月16日(月)に掲載します。

12. 問い合わせ先

学生募集に関し、不明な点等がある場合には、次まで照会してください。

〒305-8577	茨城県つくば市天王台1丁目1番地の1 筑波大学教育推進部教育推進課大学院入試 電話 029(853)2230・2231 取扱日及び時間:月～金曜日の9時～17時 〔ただし、休日(国民の祝日、振替休日)を除く。〕
-----------	---

社会人のための早期修了プログラムについて

筑波大学大学院生命環境科学研究科一貫制博士課程生命共存科学専攻（第3年次編入学者）では、早期修了を希望する社会人を応援する体制を整えました。早期修了は、通常3年かかるところを最短1年で修了することが可能です。しかし、1年での修了を約束するものではありません。一定の研究業績や能力を有する社会人が対象であり、最短1年で修了できるよう、頑張る方を最大限応援していくというものです。

1. 対象

本研究科一貫制博士課程生命共存科学専攻（第3年次編入学者）の各研究領域と関連した研究業績を有する社会人で、早期修了により課程博士の取得を希望する者。

2. 早期修了プログラムの希望者の提出書類

早期修了を希望する方には、入学試験に合格後、以下の1)～4)の書類（調書）を提出していただきます。手続については、合格通知書と一緒にお知らせいたします。

1) 早期修了希望者調書（最終学歴における専門分野、業務内容と志望分野の関係等）

2) 業績リスト（査読付き学术论文、口頭発表資料、その他）

なお、申請要件となる専攻別の査読付き学术论文及び学会等での口頭発表の件数を、以下の表に示します。

専攻	査読付き学术论文
生命共存科学専攻	筆頭著者の原著論文2編以上（査読付の国際学術誌に掲載済みもしくは印刷中（in press）であること。）

3) 自己評価書

4) 博士論文の構想（A4判2～4枚程度、書式自由、課題や関連分野の調査を含む）

3. 早期修了プログラム履修の適用について

上記2)の資料を基に、必要に応じて面接を行い、本プログラムの適用を審査いたします。申請手続等案内については、合格通知書と一緒に送付いたします。

4. その他

本プログラムを志願する方は、希望する指導教員に予めその旨を申し出て、十分に話し合ってください。なお、本プログラムの履修希望の有無を入学願書の「早期終了プログラム履修希望の有無」の欄にどちらか一つに○を付してください。

大学院博士課程研究科の概要

1. 研究科案内

(1) 人文社会科学研究科

本研究科は、人文社会科学の基礎・基盤研究を深化させるべき優れた能力を有し、かつ人文社会分野の学問的進展や社会的要請の変化に応え得る独創性と柔軟性を併せ持つ研究者・教育者、高い実務能力を有する高度専門職業人の養成を目的としています。

この目的のため、本研究科には、哲学・思想専攻、歴史・人類学専攻、文芸・言語専攻（以上5年一貫制博士課程）、現代語・現代文化専攻、国際公共政策専攻、経済学専攻、法学専攻（以上前・後期区分制博士課程）、国際地域研究専攻（博士前期課程）、国際日本研究専攻（博士後期課程）の9専攻が設置されています。

また、以上の各専攻における教育カリキュラムのほかに、教育研究を支援する課外プログラムとして、高度国際教養プログラム(IFERI)、新領域プログラム(IFERI)、国際交渉力強化プログラム、PPFプログラム(PPF=Preparing Future Professors/Professionals)、日本語教師養成プログラムを設け、修了者にはプログラム修了証を授与します。

各専攻の概要

○ 哲学・思想専攻

本専攻には、哲学分野、倫理学分野、宗教学・比較思想学分野の3分野が置かれています。各分野に開設する授業科目の領域は次のとおりです。

哲学分野

哲学（西洋・中国の哲学を含む。）

現代哲学

哲学史（西洋・中国）

倫理学分野

倫理学（東洋・西洋の倫理学を含む。）

倫理思想史（日本・東洋・西洋）

宗教学・比較思想学分野

宗教学・宗教史

比較思想学（思想及び文化に関する比較論的研究）

以上の各分野は、学際的な研究も可能となるように、相互に密接な教育・研究上の連携を保ちながら、しかも各分野における高度の学術研究を志向するものです。

○ 歴史・人類学専攻

本専攻は博士課程5年一貫制のカリキュラムのもと、歴史学と人類学における基礎的な専門領域の深化を軸として、応用的な関連領域への展望を切り拓きうる研究者の養成を目的としています。そのために、本専攻では基軸となる歴史学分野と人類学分野を設置し、それぞれの分野は数種の専門領域を包含しています。歴史学分野では日本史学、東洋史学、西洋史学と歴史地理学を、また、人類学分野では先史学・考古学と民俗学・文化人類学をそれぞれ専門領域として含んでいます。さらに、学際的構想のもと歴史学と人類学の複合分野として、平成20年度より3年次編入生を対象とする、現代東アジア歴史・民俗研究領域と地中海・西アジア研究領域を新たに設置しました。

いずれの分野も、多様な地域を場とする民衆の生活的視点を重視したカリキュラムを組んでおり、科目履修にあたっては、各専門領域を超えて広い視野に立った学問を築くために、他専攻・他分野の単位を取得するように指導しています。また、現代の認識水準を超える新しい学問的動向への対応と、刻々と変化する情報管理の時代的要請への対応から、各分野の基礎と応用の科目編成を検討して、段階を迫ったカリキュラムを構成しています。特に、5年一貫制のもとで、課程修了による博士号取得者の増加を図るために研究指導体制を充実させ、博士論文作成スケジュールに沿った指導を行っています。

○ 文芸・言語専攻

本専攻は、文学分野と言語学分野から成っています。

文学分野は、総合文学、日本文学、イギリス文学、アメリカ文学、フランス文学、ドイツ文学、中国文学の7領域から構成され、総合文学領域では、文学・文化理論、比較文学、および西洋古典学を、また、日本文学以下の各国文学領域では、文献学的研究を基盤とした作品の徹底的分析・解説と、それを通じた各国文学の理論・歴史および特質等を主要内容とする教育研究が行われます。領域を超えた学際的・総合的教育研究も積極的に進められています。

言語学分野は、一般言語学、応用言語学、日本語学、英語学、フランス語学、ドイツ語学の6領域から構成され、一般言語学領域では一般言語理論・古代オリエント諸語・スラヴ諸語・韓国語・中国語等、応用言語学領域では応用言語学の諸理論や対照言語学・日本語教育学等に重点を置いた実証的・理論的研究と教育が、また、日本語学以下の個別言語学領域では音韻論、形態論、意味論、文法論、言語史等の側面から個別言語の特性と言語の持つ普遍性の解明を目標とした実証的・理論的研究が行われます。一般理論研究、応用研究、個別言語研究を融合させた超域的研究も奨励しています。

(2) 生命環境科学研究科

本研究科は、生命と環境に関するほとんどすべての研究分野をカバーする研究科で、地球科学、生物科学、農学の多様な分野を核として、基礎、応用、学際、融合領域まで、多様な研究分野で構成されています。生物進化や生命現象に関する分子から生態系レベルの基礎科学、地球進化から地質、地理、地球環境分野にわたる基礎科学、生物資源の保全や持続的利用についての自然科学、社会科学的な応用研究、さらに地球環境・生命系と人類の共存という重要な課題に取り組む研究まで、多岐にわたる分野の研究教育を行っています。220名を超える教員の他、つくば地区の研究機関のおよそ60名の研究者が連携教員として教育に携わっています。

本研究科は、生命・環境の研究に不可欠なフィールド科学に関連した5センターを擁しており、学生は、センター機能を活用してフィールド・サイエンスのセンスを身につけることができます。また、ほとんどの専攻が英語教育に力を入れており、国際的な舞台上で活躍する人材育成を目指しています。幅広い視野と見識に加えて、優れた研究能力を持った、社会のさまざまな分野で活躍できる研究者と高度職業人の育成を行います。

学部（筑波大学では学類）からの進学先の1つとして、5年一貫制の博士課程専攻である学際的専攻の生命共存科学専攻が用意されています。学生は5年間の課程で博士の学位の取得をめざすことになります。（地球系、生物系、農学系、学際環境系の研究分野については、前期課程の項をご覧ください）

○生命共存科学専攻

われわれ人類生存の基盤である地球環境が危機に瀕している現在、この状況を打開できる研究分野の創設が社会的に強く要請されています。本専攻は、急速に変貌する生活環境と地球生命との新たな関連を解明し、人類と他の生物が共存できる理想的地球環境を提言する研究領域を創設するとともに、さまざまな環境問題に柔軟に対応できる独創的研究者、高度専門職業人の養成を目指しています。この理想の基に、本専攻は生命生存の基盤である地域環境を物理化学的手法により解析する地球科学と、生命と環境の相互作用を生命の側から解明する生命科学を融合させ、激変する地球環境と生命の相克を複合的・動的に解析し、両者の調和をもたらす方策を立案できる新たな科学分野を創生します。本専攻では、教育・研究分野として共存生物学分野、植物環境適応学分野、環境病理学分野、負荷適応分子生物学分野、環境創生モデリング分野、生物圏生態学分野、保全生物学分野、生物防御学分野（連携）及び生物環境修復学分野（連携）を設けています。

本専攻では以下の教育方針の下に教育研究を行います。

- (a) 既成の専門分野では包含できない広範囲のカリキュラムを作成し、学生の視野とバックグラウンドを広げる。
- (b) 複数教員指導制を導入して様々な視点からの指導、助言を受けることにより国際社会に対応した柔軟な思考力を養う。
- (c) グローバルな環境問題の原理解明とその科学的修復という緊急な課題を解決するために、国際的に活躍できる人材の育成を旨とし、外国人教師の招聘、学生の短期留学や国際学会への参加等の新教育法を積極的に採用する。
- (d) 高度専門職業人養成の一環として、留学生や社会人を受け入れ、能力ある学生に対しては5年未満での学位取得を積極的に奨励し、国際社会で活躍する政策立案者を養成する。

2. 連携大学院方式

近年の科学技術の急速な発展と高度化に伴い、研究分野の細分化、専門化が進む一方、従来の学問体系を越えて新しい境界領域が開拓され、学際的な研究が推進されるようになりました。

特に、基礎から応用分野に係る広い範囲の知識を必要とする学際研究では、専門分野を異にする研究者間の協力による総合的な研究が重要となっており、また、これに対応する、時代に即した新しい型の研究者育成が強く求められています。

本方式は、これらの学問的、社会的要請に応えるため、筑波研究学園都市等にある多数の国立・独立行政法人・民間企業等の研究機関と連携を図り、その研究者を本学の教授又は准教授（併任教員又は客員教員）に任用し、最新の研究設備と機能を有する研究所において学生の研究指導を行い、教育・研究領域を多様化して大学院教育を活性化するとともに、これらの研究機関との交流を深めて新たな研究領域を確立することを目的としています。

筑波大学大学院博士課程研究科教員研究分野一覧

人文社会科学研究科

<哲学・思想専攻>【一貫制博士課程】（5年一貫制）

研究分野	研究領域	教員名	研究内容
哲学	西洋哲学	久保 徹	西洋古代哲学（ギリシア哲学）
		高尾 由子	西洋近代哲学（ドイツ哲学）
		津崎 良典	西洋近世哲学（フランス哲学）
		檜垣 良成	西洋近世哲学（ドイツ哲学）
	現代哲学	鬼界 彰夫	言語哲学
		橋本 康二	分析哲学
	中国哲学	井川 義次	中国哲学（近世）
倫理学	西洋倫理学	五十嵐 沙千子	現代倫理学
		桑原 直己	西洋中世倫理思想
	日本倫理思想	伊藤 益	日本倫理思想
宗教学・比較思想学	宗教学	小野 基	インド・チベット仏教思想史
		木村 武史	宗教学・アメリカ宗教研究
		津城 寛文	宗教学・日本研究
		保呂 篤彦	宗教哲学
		山中 弘	宗教社会学・近代イギリス宗教史
	比較思想学	佐久間 秀範	インド・中国仏教
		吉水 千鶴子	インド・チベット仏教思想史

詳細は、専攻事務室にお問い合わせください。

<歴史・人類学専攻>【一貫制博士課程】（5年一貫制）

研究分野	研究領域	教員名	研究内容	
歴史学	日本史学	伊藤純郎	地域社会史（近代・現代史）	
		千本秀樹	社会史（現代史）	
		中野目 徹	思想史（近代史）	
		浪川健治	社会経済史（近世史）	
		根本誠二	宗教社会史（古代史）	
		山澤 学	宗教社会史（近世史）	
		朴 宣美	文化交流史、近・現代史	
	東洋史学	楠木賢道	内陸アジア史	
		丸山 宏	中国宗教社会史	
		山本 真	中国・台湾近現代史	
		上田裕之	中国経済・財政史	
	西洋史学	立川孝一	ヨーロッパ史（フランス史）	
		山田重郎	オリエント史（アッシリア学）	
		井上文則	ヨーロッパ史（ローマ史）	
		佐藤千登勢	アメリカ史（合衆国史）	
		柴田大輔	西アジア宗教社会史（楔形文字文書学）	
	歴史地理学	小口千明	歴史地理学（歴史文化地理学）	
		中西僚太郎	歴史地理学（日本・アジア）	
	人類学	先史学・考古学	常木 晃	考古学（都市形成・葬送）
			三宅 裕	先史学（生業・技術）
			谷口陽子	考古学（文化財科学）
民俗学・文化人類学		内山田 康	社会人類学（インド他・存在と認識）	
		徳丸 亜木	日本民俗学（信仰伝承論・歴史伝承論）	
		古家信平	日本民俗学（儀礼伝承論）	
		風間計博	文化人類学（オセアニア民族誌）	
		中込睦子	日本民俗学（社会伝承論）	
		中野 泰	民俗学（社会構成論）	
		武井基晃	日本民俗学（社会伝承論）	

詳細は、専攻事務室にお問い合わせください。

<文芸・言語専攻>【一貫制博士課程】（5年一貫制）

研究分野	研究領域	教員名	研究内容
文 学	総合文学	浜名 恵美	文化研究、ジェンダー研究
		青柳 悦子	文学理論（とくにフランス系）、物語言語論
		秋山 学	古典古代学、地中海学
		加藤 百合	比較文学、スラヴ文学
		吉原 ゆかり	文化研究、イギリス文学
		齋藤 一	文学理論、イギリス文学
	日本文学	谷口 孝介	日本古代文学、和漢比較文学
		秋山 佳奈子	日本中古文学
		近本 謙介	日本中世文学
		清登 典子	日本近世文学
		新保 邦寛	日本近・現代文学
	イギリス文学	加藤 行夫	イギリス・ルネサンス演劇
		佐野 隆弥	イギリス・初期近代文学
	アメリカ文学	鷺津 浩子	アメリカ文学、知識史
		宮本 陽一郎	アメリカ文学、文化研究
	フランス文学	小川 美登里	フランス現代文学
		増尾 弘美	フランス現代文学
	ドイツ文学	相澤 啓一	ドイツ近・現代文学
		ヘーゼルハウス,ヘラト	ドイツ文学、比較文学
	中国文学	稀代 麻也子	中国六朝文学
小松 建男		中国近世文学	
言 語 学	一般言語学	池田 潤	セム語学、歴史言語学
		金 仁和	韓国語学、対照言語学
		白山 利信	スラヴ語学、言語政策論
		池田 晋	中国語学、対照言語学
	応用言語学	砂川 有里子	日本語談話分析、日本語教育学
		杉本 武	日本語文法論、コーパス言語学
		竹沢 幸一	統語論、理論言語学
		沼田 善子	日本語文法論
		石田 プリシラ	慣用句論、日英語対照言語学
		一二三 朋子	日本語教育学
		松崎 寛	日本語教育方法論、音声学
		宮本エジソン正	機械心理言語学、認知科学
		澤田 浩子	日本語学、日中対照言語学
		日本語学	坪井 美樹
	矢澤 真人		日本語文法論
	大倉 浩		日本語史
	橋本 修		日本語文法論、意味論
	那須 昭夫		日本語音韻論、理論言語学
	英語学	廣瀬 幸生	意味論、語用論
		加賀 信広	生成統語論、英語文法論
		島田 雅晴	生成統語論、理論言語学
		和田 尚明	意味論、文法論
	フランス語学	青木 三郎	フランス文法論、日仏対照言語学
		渡邊 淳也	フランス語意味論
	ドイツ語学	伊藤 眞	日独対照語彙文化論
		大矢 俊明	ドイツ語文法論

詳細は、専攻事務室にお問い合わせください。

生命環境科学研究科

＜生命共存科学専攻＞【一貫制博士課程】（5年一貫制）

研究分野	教員名	研究内容
共存生物学	井上 勲 鈴木 石根 (渡 邊 信) (彼 谷 邦 光) (稲 葉 正 志) (田 辺 雄 彦) (吉 田 昌 樹)	①富栄養湖沼における有毒アオコの発生・動態に関する集団遺伝学的研究 ②湖沼生態系のキーストーン種であるシャジクモ藻類の保全・再生に関する研究 ③オイル産生微細藻類を利用したエネルギー再生技術開発に関する研究 ④微細藻類の環境適応・環境検知機構に関する研究 ⑤微細藻類の代謝制御機構の解明と有用物質生産のための研究
	徳 永 幸 彦 (大 橋 一 晴)	①実験室個体群・群集を用いての多種共存の機構解明 ②野外個体群・群集を用いての多種共存の機構解明 ③数理モデル・人工生命を用いての多種共存の機構解明 ④花粉媒介動物の採餌戦略に関する理論・実証研究 ⑤動物の行動を介した花の形質進化に関する理論・実証研究
植物環境適応学	佐 藤 忍 (岩 井 宏 暁) (古 川 純)	①環境とホルモンによる根の機能制御と導管液有機物質の働きの解明、植物の傷害回復と組織癒合の機構解明 ②個体発生における細胞壁糖鎖・タンパク質の機能解明、バイオエタノール生産にむけた細胞壁マトリックス多糖類改変イネの開発 ③高等植物における金属元素の吸収・輸送・集積機構の解明
環境病理学	恩 田 裕 一	①水循環の実態解明およびモデリング ②山地からの土砂生産、地形形成、および土砂収支の解明 ③福島原発起源の放射性物質の環境中の移行に関する研究
	丸 岡 照 幸 (安 間 了)	①地球化学的手法による環境変動の解析 ②地球における元素循環プロセスの解明 ③沈み込み帯とマグマ ④海洋底地質学
負荷適応分子生物学	星 野 貴 行	①魚類用プロバイオティクスの開発と応用 ②消化管内微生物と宿主とのクロストーク機構の解明（免疫関連遺伝子の発現調節を中心に）
	中 村 顕	①好熱菌分子育種システムの開発・改良とその利用 ②極限環境からの新奇・有用微生物の分離・同定と応用
	高 谷 直 樹	①真菌・糸状菌の新規代謝機構とそれに関わる酵素の解析 ②微生物や酵素の働きを利用した有用物質生産・環境修復
環境創生モデリング	福 島 武 彦 松 下 文 経	①持続的な発展が可能な地域社会とその構築方法 ②環境変化や汚染物質の動態解析とモデル化 ③水環境の保全 ④リモートセンシングとGIS手法による地球環境変化の監視及びモデリング
生物圏生態学	濱 健 夫	①海洋・湖沼における生物代謝と生元素循環過程 ②海洋溶存態有機物の難分解化と炭素貯留機能 ③藻場生態系における生元素循環過程と外洋生態系への影響
保全生物学	渡 辺 守	①「昆虫－植物」の個体群レベルにおける相互関係の解析 ②昆虫類（主として蜻蛉目と蝶類）における精子間競争の解析 ③生活史戦略を指標とした保全生物学

【連携大学院方式】

研究分野	教員名	研究内容
生物防御学分野	南 栄一 (生 資 研)	①イネとイネいもち病菌の相互作用にかかわる因子とその作用機構 ②病原菌感染イネにおける遺伝子発現パターンの時間的・空間的解析
生物環境修復学分野	中 嶋 信 美 玉 置 雅 紀 (環 境 研)	①植物による環境浄化能力の解析 ②植物の大気汚染応答機構の解明 ③分子生物学的手法を用いたモニタリング手法の開発 ④植物個体群への外来種侵入防御機構の解明（遺伝子組換え植物をモデルとして）
水圏環境生物学	河 地 正 伸 (環 境 研)	①ハプト藻類の系統、分類、生態に関する研究 ②微細藻類および絶滅危惧藻類の系統保存に関する研究 ③微生物群集の多様性解析に関する研究

(注1) 出願にあたり、志願者は志望研究分野の教員と事前に必ず連絡をとってください。

(注2) ()の教員は、研究指導教員には指名できませんが、同一教育研究分野の教員の協力により、当該内容の研究を行うことができます。

(生資研)＝独立行政法人 農業生物資源研究所

(環境研)＝独立行政法人 国立環境研究所

入学願書等記入上の注意

1. 入学願書に記入した氏名、生年月日、性別は、基本データになりますので正確に記入してください。
2. 入学願書は、複数の研究科で共通に使用できるように作成されています。
したがって、研究科によっては該当しない受験科目欄が設けられている場合がありますので、各研究科の指示に従い該当する欄のみ記入してください。
3. ※欄は記入しないでください。
4. 本籍（国籍）欄は、日本国籍を持つ者は都道府県名を記入し、外国籍を持つ者は国名を記入してください。
本籍コード、研究科・専攻コードは、次の該当するコードを記入してください。

[本籍コード]

北海道 →01	埼玉県 →11	岐阜県 →21	鳥取県 →31	佐賀県 →41
青森県 →02	千葉県 →12	静岡県 →22	島根県 →32	長崎県 →42
岩手県 →03	東京都 →13	愛知県 →23	岡山県 →33	熊本県 →43
宮城県 →04	神奈川県 →14	三重県 →24	広島県 →34	大分県 →44
秋田県 →05	新潟県 →15	滋賀県 →25	山口県 →35	宮崎県 →45
山形県 →06	富山県 →16	京都府 →26	徳島県 →36	鹿児島県 →46
福島県 →07	石川県 →17	大阪府 →27	香川県 →37	沖縄県 →47
茨城県 →08	福井県 →18	兵庫県 →28	愛媛県 →38	
栃木県 →09	山梨県 →19	奈良県 →29	高知県 →39	
群馬県 →10	長野県 →20	和歌山県 →30	福岡県 →40	

[研究科・専攻コード]

研究科名	コード	専攻名	コード
人文社会科学	8エ	哲学・思想	1
		歴史・人類学	2
		文芸・言語	3
生命環境科学	8ア	生命共存科学	5

5. 改姓年月及び旧姓欄は、婚姻等により出願書類（成績証明書など）と氏名が異なる場合に記入してください。
また、これを証明する戸籍抄本（写可）を添付してください。
6. 本人以外の連絡先欄は、日本国内に在住している本人と連絡のとれる者を記入してください。
また、国費外国人留学生は、「文部科学省」以外の氏名を記入してください。
7. 志望研究科・専攻名は、募集要項（1頁）で明記している研究科・専攻名を記入してください。
8. 志望研究分野は、志願者全員が「教員研究分野一覧」に記載されている「研究分野又は研究領域」名を明記してください。
ただし、研究科によっては記入方法が異なるので記入例を参照してください。
9. 受験特別措置欄は、障害のある者で、受験の際に特別な配慮を許可された者は「要」に○を付してください。
それ以外の者は「不要」に○を付してください。
10. 出願資格審査欄は、募集要項に明記している出願資格認定審査に提出する者は「要」に○を付してください。
それ以外の者は「不要」に○を付してください。
11. 出願資格欄は、該当する出願資格に応じて修了（卒業）した学校名等を記入してください。
12. 入学願書提出後、連絡先が変更になった場合には、直ちに申し出てください。

<各研究科別記入例>

◎ 人文社会科学研究科

<哲学・思想専攻>

「外国語等1」の欄に外国語第1科目を、「外国語等2」の欄に外国語第2科目を記入してください。

志望研究科名・研究科コード		志望専攻名・専攻コード		志望研究分野又は志望指導教員	
人文社会科学研究科 8 工		哲学・思想 専攻 1		哲 学	
受験科目	外国語等		専門科目	関連科目	基礎科目
	1	英語 I	哲学・哲学史		
	2	ドイツ語 II			

<歴史・人類学専攻>

「志望研究分野又は志望指導教員」欄に、志望研究分野及び（ ）書で志望研究領域を記入してください。

志望研究科名・研究科コード		志望専攻名・専攻コード		志望研究分野又は志望指導教員	
人文社会科学研究科 8 工		歴史・人類学 専攻 2		歴史学（西洋史学）	
受験科目	外国語等		専門科目	関連科目	基礎科目
	1		西洋史学	① 史料講読 ② 外国語文献講読 (ドイツ語)	
	2				

<文芸・言語専攻>

「志望研究分野又は志望指導教員」欄には、「研究分野一覧」に従って、志望研究領域を記入してください。

志望研究科名・研究科コード		志望専攻名・専攻コード		志望研究分野又は志望指導教員	
人文社会科学研究科 8 工		文芸・言語 専攻 3		日本語学領域	
受験科目	外国語等		専門科目	関連科目	基礎科目
	1	英語	日本語学		
	2				

◎ 生命環境科学研究科志願者記入例

<生命共存科学専攻>

- ・ 「志望研究分野又は志望指導教員」欄には、「志望研究分野」を記入してください。
- ・ 外国語等欄には、11頁(社会人特別選抜は18頁)「生命共存科学専攻外国語」から選択した方法を記入してください。

志望研究科名・研究科コード		志望専攻名・専攻コード		志望研究分野又は志望指導教員	
生命環境科学研究科 8 ア		生命共存科学 専攻 5		植物環境適応学	
受験科目	外国語等		専門科目	関連科目	基礎科目
	1	1. TOEFL			
	2				
生命環境科学研究科 生命共存科学専攻の外国語の選択 (選択する番号に○をしてください)				①. TOEFLの受験者用スコア票を提出 ②. TOEICの公式認定証を提出 ③. その他	

